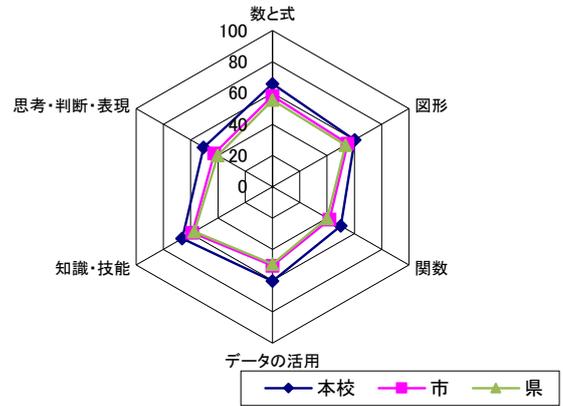


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【数学】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	65.9	58.2	55.5
	図形	60.2	55.1	53.5
	関数	50.0	41.9	40.2
	データの活用	60.3	50.5	49.4
観点	知識・技能	66.2	58.8	57.3
	思考・判断・表現	50.6	42.7	40.3



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<p>○平均正答率は65.9%で県の平均を10.4ポイント上回っている。</p> <p>○四則計算についての正答率は県の平均を大きく上回っている。</p> <p>●方程式の中でも、移項をしない1次方程式を解く問題で、県の平均並、市の平均を下回っている。</p>	<p>・基本的な問題を繰り返し実施し基本の定着を続けて図っていきたい。</p> <p>・分数や小数といった整数以外の問題をくりかえし実施し、定着を図っていく。</p>
図形	<p>○平均正答率は60.2%で県の平均の6.7ポイント上回っている。</p> <p>○回転移動したときの回転の中心を求める問題は、正答率が高かった。</p> <p>●おうぎ形の弧の長さや円周や、円柱と円錐の体積を比べる問題で、県の平均並だった。</p>	<p>・長さ、面積、体積を求める問題を繰り返し実施し、基本の定着を図っていく。</p>
関数	<p>○平均正答率は50.0%で県の平均の9.8ポイント上回っている。</p> <p>○与えられた数値やグラフから速さを求める問題の正答率は、県の平均を大きく上回っている。</p> <p>●与えられた表をもとに、比例のグラフをかく問題で、正答率が県の平均並だった。</p>	<p>・式、表、グラフについての基本的な問題について繰り返し学習することで引き続き基礎学力を身につけさせていきたい。</p> <p>・グラフが何を表しているかを求めるかについて、式、表、グラフの3つの考えを使って考えることができるようにペア学習等を通して指導していきたい。</p>
データの活用	<p>○平均正答率は60.3%で県の平均の10.9ポイント上回っている。</p> <p>○ヒストグラムの階級の幅についての問題の正答率は、県の平均を大きく上回っている。</p> <p>●累積度数を求める問題で、正答率が県の平均並だった。</p>	<p>・基本的な問題を繰り返し実施し基本の定着を続けて図っていきたい。</p> <p>・ペア学習等で数学の用語の意味について、学び合いの学習を通して定着を図っていく。</p>